

☆「だまされない」シリーズその4 「立ち止まる・しっかり本音を見る」

― 憲法、経済、沖縄、原発 ―

「最もやりたい政策は選挙のときは隠しておく」

◇安倍政権が歴代の自民党政権と際だって違うのは何ですかと聞かれて、著名な政治学者が言った答えがこれです。 (『通販生活』夏号六八ページ)

◇国民に知られたくない情報を隠す「特定秘密保護法」、人を殺す武器を輸出して儲ける「武器輸出許可」、海外に出て行って戦争をする「集団的自衛権行使」。これらは2013年の参院選公約では専門家でもわからなかったそうです。

◇このように、選挙の時は最もやりたい政策は隠しておき、選挙が終わったら数に頼んでやりたい放題というのが現政権のやり方です。七月の選挙でも勝つためには改憲」は言わない方が良くと言う与党議員が出てきました。

結果はどうなる？

◇雇用は増えた(実は非正規が大半ですが)、株価はまだ高い、大企業は儲かっている・国民の眼はこういうニュースに釘付けになります。

◇そして選挙後は、白紙委任したはずがないのに隠しておいた政策を出してきて成立させてしまうのです。憲法改正、沖縄辺野古の基地建設、格差を増大する経済政策、原発再稼働・・・みな隠されている本音です。

立ち止まる・しっかり本音を見る、そしてだまされない

◇暮らしが苦しくなっているから経済をなんとかしてほしい。それはそのとおりです。しかし、その結果、大企業やお金持ちをますます富ませるだけの結果となるのだったら庶民の皆さん納得されるでしょうか。

◇「景気回復、この道しかない」というスローガンは本当に庶民の将来の幸せ・と安全を約束するのでしょうか。「景気回復、(大企業とお金持ちを儲けさせるには)この道しかない」が本音です。カッコ書きは隠されているのです。

◇憲法改正Ⅱ富国強兵のため。景気回復Ⅱお金持ちのため。沖縄基地Ⅱアメリカのため。原発再稼働Ⅱ大企業のため。こういうからくりを、立ち止まってしっかりと見よう。だまされてはなりません。

二〇一六年五月八日(日) 護憲平和行進 (通算591回目)

★ 浜松市憲法を守る会 事務局 浜松市中区紺屋町三〇一―一五
月例護憲平和行進 毎月第二日曜日・午後一時・浜松市役所正面玄関集合

日本国憲法第九条

日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権はこれを認めない。